大規模小売店舗立地法指針項目チェックリスト

1 概要

既存宅地(パチンコ店跡地)へのドラッグストアの新設。(法第5条第1項)

2 届出の内容

届出年月日 令和3年4月20日 店舗 店舗名称 方スリのアオキ碧南中町店 店舗所在地 碧南市中町5丁目9番 ほか 名称 株式会社クスリのアオキ 代表者 代表取締役 青木 宏憲住所 石川県白山市松本町2512番地 その他 1名名 株式会社クスリのアオキ 代表者 代表取締役 青木 宏憲 住所 石川県白山市松本町2512番地 その他 1名 店舗面積 1,494 ㎡ 日本	2 周山の内谷								
店舗所在地 碧南市中町5丁目9番 ほか 名称 株式会社クスリのアオキ 代表者 代表取締役 青木 宏憲 住所 石川県白山市松本町2512番地 その他 1名 名称 株式会社クスリのアオキ 代表者 代表取締役 青木 宏憲 住所 石川県白山市松本町2512番地 その他 1名 店舗面積 1,494 ㎡ 駐車場 位置 別紙図面のとおり 台数 70 台 (指針台数: 58 台) 分 台数 43 台 位置 別紙図面のとおり 市捌施設 位置 別紙図面のとおり 商積 81 ㎡ の 廃棄物 保管施設 空量 12.6 ㎡ 営業時間 関店 午前9時(一部午前0時) 財店 翌午前0時 財庫場刊時間帯 24時間 駐車場利用時間帯 24時間 数 4箇所 位置 別紙図面のとおり 別紙図面のとおり	届出年月日	令和3年4月20日	3						
店舗所在地 名称 株式会社クスリのアオキ 代表者 代表取締役 青木 宏憲 住所 石川県白山市松本町2512番地 その他 1名 名称 株式会社クスリのアオキ 代表者 代表取締役 青木 宏憲 住所 石川県白山市松本町2512番地 その他 1名 1名 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日	店舗	店舗名称	クスリのアス	ナキ碧南中町店					
代表者 代表取締役 青木 宏憲	/E AM	店舗所在地	碧南市中町	5丁目9番 ほか					
設置者 住所 石川県白山市松本町2512番地 その他 名称 株式会社クスリのアナキ 代表者 代表取締役 青木 宏憲 住所 石川県白山市松本町2512番地 その他 1名 店舗面積 1,494 ㎡ 駐車場 位置 別紙図面のとおり 台数 43 台 台数 43 台 台数 43 台 位置 別紙図面のとおり 廃棄物 保管施設 位置 別紙図面のとおり 空量 12.6 ㎡ 財店 平前9時(一部午前0時) 財店 空午前0時 駐車場利用時間帯 24時間 駐車場利用時間帯 24時間 駐車場出入口 数 4箇所 位置 別紙図面のとおり 財車場出入口 数 4箇所 位置 別紙図面のとおり		名称	株式会社ク	スリのアオキ					
任所 石川県日山市松本町2512番地 その他 1名 名称 株式会社クスリのアオキ 代表者 代表取締役 青木 宏憲 住所 石川県白山市松本町2512番地 その他 1名 1,494 ㎡ 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	小学者	代表者	代表取締役	表取締役 青木 宏憲					
A	改造名	住所	石川県白山	7川県白山市松本町2512番地					
小売業者 代表者 代表取締役 青木 宏憲 店舗面積 1,494 ㎡ 施設の配置 駐車場 位置 別紙図面のとおり 施設の運営 内別施図面のとおり 施設の運営 内別施図面のとおり 内別施図面のとおり 内部・ 日本・ 日本・ 日本・ 日本・ 日本・ 日本・ 日本・ 日本・ 日本・ 日本		その他	1名						
作所 石川県白山市松本町2512番地 その他 1名 1,494 m 日本 位置 別紙図面のとおり 台数 70 台 (指針台数: 58 台) 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日		名称	株式会社ク	スリのアオキ					
住所 石川県白山市松本町2512番地 その他 1名 1,494 m 位置 別紙図面のとおり 台数 70 台 (指針台数: 58 台) 台数 43 台 台数 43 台 台数 43 台 台数 43 台 白西積 81 m 原棄物 位置 別紙図面のとおり 百積 81 m 原棄物 住置 別紙図面のとおり 京華時間 南店 午前9時(一部午前0時) 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日	小丰業夫	代表者	代表取締役	き 青木 宏憲					
店舗面積 1,494 ㎡ 施設の配置 駐車場 位置 別紙図面のとおり 施設の運営 大前9時(一部午前0時) 施設の運営 財本 加紙図面のとおり 施設の運営 関本時間 中前9時(一部午前0時) 財産 中前9時(一部午前0時) 財産 中前9時(一部午前0時) 財産 日本第月日時間帯 24時間 財車場出入口 数 4箇所 位置 別紙図面のとおり	小元未日 	住所	石川県白山	I市松本町2512番地					
駐車場 位置 別紙図面のとおり 台数 70 台 (指針台数: 58 台) 駐輪場 位置 別紙図面のとおり 台数 43 台 付捌施設 位置 別紙図面のとおり 廃棄物保管施設 位置 別紙図面のとおり 容量 12.6 ㎡ 営業時間 開店 午前9時(一部午前0時) 財店 翌午前0時 財店 翌午前0時 駐車場利用時間帯 24時間 駐車場出入口 数 4箇所 位置 別紙図面のとおり		その他	1名						
施設の配置 台数 70 台 (指針台数: 58 台) 駐輪場 位置 別紙図面のとおり 台数 43 台 付別施設 商積 81 ㎡ 原棄物保管施設 位置 別紙図面のとおり 保管施設 容量 12.6 ㎡ 営業時間 開店 午前9時(一部午前0時) 財店 翌午前0時 翌午前0時 駐車場利用時間帯 24時間 駐車場出入口 数 4箇所 位置 別紙図面のとおり	店舗面積	1,494 m²							
施設の配置		駐車場	位置	別紙図面のとおり					
施設の配置 台数 43 台 荷捌施設 位置 別紙図面のとおり 面積 81 ㎡ 廃棄物保管施設 位置 別紙図面のとおり 容量 12.6 ㎡ 営業時間 開店 午前9時(一部午前0時) 閉店 翌午前0時 駐車場利用時間帯 24時間 駐車場出入口 数 4箇所 位置 別紙図面のとおり			台数	70 台 (指針台数: 58 台)					
施設の配置		駐輪場 -	位置	別紙図面のとおり					
位置 別紙図面のとおり 面積 81 ml	佐訳の司里		台数	43 台					
施設の運営 血積 81 m 廃棄物保管施設 存量 12.6 m お 2.6 m 財店 午前9時(一部午前0時) 関店 翌午前0時 財店 翌午前0時 財店 34時間 上車場利用時間帯 24時間 24時間 財車場出入口 位置 別紙図面のとおり	他改の能量	ᆂᆒᄹᆒ	位置	別紙図面のとおり					
保管施設 容量 12.6 ㎡ 営業時間 開店 午前9時(一部午前0時) 閉店 翌午前0時 駐車場利用時間帯 24時間 駐車場出入口 数 4箇所 位置 別紙図面のとおり		1可协加也改 	面積	81 m ²					
古皇 12.0 m 日曜 12.0 m		廃棄物	位置	別紙図面のとおり					
宮莱時間 閉店 翌午前0時 駐車場利用時間帯 24時間 数 4箇所 位置 別紙図面のとおり		保管施設	容量	12.6 m ³					
開店 翌午前0時		当 举 吐即	開店	午前9時(一部午前0時)					
施設の連営 数 4箇所 駐車場出入口 位置 別紙図面のとおり		呂耒吋间	閉店	翌午前0時					
数 4箇所 位置 別紙図面のとおり	佐乳の実営	駐車場利用	時間帯	24時間					
位置 別紙図面のとおり	旭設の選名	野市担山了口	数	4箇所					
荷捌時間帯 午前6時から午後10時まで(一部24時間)		牟里塚田八口 	位置	別紙図面のとおり					
1 manages of Manages o		荷捌時	間帯	午前6時から午後10時まで(一部24時間)					
新設する日 令和3年12月21日	新設する日	令和3年12月21日							

3 参考事項

3 多有爭項						
敷地面積	7,206 m ²					
建築面積	1,841 m ²					
延床面積	,801 m ²					
業態	住·生活関連品専門店					
用途地域	準工業地域 — — — — — —					
備考						

4 基本的配慮事項

	配慮事項	記述事項
(1)		都市計画及び中心市街地活性化基本計画等について情報収集し、検討する
(2)	深夜営業の対応	騒音発生源を近隣住宅から離す
(3)	住民説明会の開催	地域住民等の理解が十分得られるよう説明・周知
(4)	テナントの履行確保	テナントの履行確保に努めます。
(5)	責任者の任命	店長を責任者として任命
(6)	予測乖離時の措置	再調査・再対策を検討の上、必要措置を実施
(7)	通年の臨時措置	状況に応じて交通整理員を配置する
(8)	開店時の臨時措置	状況に応じて交通整理員を配置する

- 5 施設の配置及び運営方法に関する事項 1 駐車需要の充足・周辺地域の利便確保のための配慮 (1) 交通に係る事項

 - ア 駐車場の必要台数の確保 (ア) 小売店舗の必要駐車台数
 - a 指針による算出

行政人口	店舗面積S	日来客数 原単位A (人/千㎡)	ピーク率B	駅からの距離 (商業系地域 の場合)	自動車分担率 C	平均乗車 人員D	ピーク1hの 来台車数F S/1000×A×B×C/D	平均駐車 時間係数G	必要駐車台数 F×G
72,882人	1,494 m ²	1,055	14.40%	1	80%	2.00 人	91 台	0.637	58 台

総駐車場台数 _	従業員等駐車場台数	業務用駐車場台数	_	搬出入用駐車場台数	_	併設施設駐車場台数	_	来客用駐車場台数	評価
114 台	44台	0台		0台		0台	_	70 台	0

b 指針によらない「特別な事情」による算出 該当なし。

(イ)小売店舗に併設施設を含めた必要駐車台数

a 指針の参考式による算出

該当なし

イ 駐車場の位置及び構造等

1平面自走オペレーター:無	2平面自走オペレーター:有	3機械式駐車場	共用駐車場数	ピーク1hの来台車数
1箇所	0箇所	0箇所	0箇所	91 台

ウ 駐車場形式・出入口数・位置・駐車待スペース・分散確保・交通整理

	種	別 1	収容台数	70 台	歩行者動線	分離	騒音配慮	徐行運軸	医の励行 排が	ス配慮 アイト・ !	ノング、ストッ	プ
来		出入口数	道路種別	道路幅員	歩道	交差点距離	駐車待スペース	予測来台車数	~~~~	入出庫方法	整理員	評価
客	東	2箇所	市町村道	18m	あり	17m	0m	63台	双方向	右左折混合	あり	0
	西	なし	_	-	-	-	-	-	-	-	-	-
駐	南	なし	_	-	-	-	-	-	-	-	-	-
車	北	2箇所	市町村道	8m	なし	5m	0m	28台	双方向	右左折混合	あり	0
場	交通	整理員等の	配置年間を	通して混	雑する時	芽期のみ	配備					

	駐車場法の基準	駐車場出入口の数・位置	駐車待スペース	駐車場の分散確保	出入口における交通整理
評価	i O	0	0	0	0

エ 周辺交通状況の把握

実施	実施	実施	実施(交差点需要率等の検討)
交通量調査	来客車両等の方向別予測	店舗周辺状況調査	交通流動の予測
— /BJ /CE / / / / / / / / / / / / / / / / / /			

(ア)交差点需要率の検討

			休 日			平 日			
		現 況	開店後	評価	現 況	開店後	評価		
^	需要率	0.250	0.280	0	0.324	0.354	0		
A 交差点	将来交通量/可能交通容量	0.360	0.383	0	0.423	0.446	0		
文左点	ピーク時間帯		10時台			17時台			
В	需要率	0.411	0.433	0	0.489	0.504	0		
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	将来交通量/可能交通容量	0.566	0.588	0	0.633	0.654	0		
义 左 尽	ピーク時間帯	11時台			17時台				

	遅れの程度(入庫)	-	遅れ無し	_	_	遅れ無し	_
出入口①	遅れの程度(出庫)	1	小	0	-	小	0
	ピーク時間帯		10時台			17時台	

駐輪場の収容台数	∆3 ←
社柵场の収合ロ奴	40 🖯
標準収容台数	∆3 ←
惊华拟谷口 数	40 🖯
収容台数根拠	歩針の煙淮収突4数による
松台口双似沙	拍画の徐牛牧台口数による

位置評価	台数評価
0	0

カー自動ニ輪車の駐車場の確保

_	77 口功一剂十分性十分分性外				
	自動二輪車駐車場の確保	なし	収容台数	_	
	位置及び箇所	駐輪場内に2台	設置(共用)。		

位置評価	台数評価
_	_

キ 荷捌施設の整備等

(ア)荷捌施設の整備

停車位置	専用出入口・通路	面積	営業時間外の搬入	平均処理時間	同時処理可能台数	ピーク時車両数	処理能力
敷地内	混在	81m²	あり	10分	1台	3台	0

(イ)計画的な搬入

<u> </u>	C 1/1/X / \					
搬入ピーク	台数	道路混雑ピーク	道路余裕時間帯	施設運営計画の有無	荷捌待スペース	評価
6:00~7:00	3台	17:00~18:00	3:00~4:00	あり	なし	0

ク 経路の設定等

(ア) 車両関係

a 来客車関係

案内表示の設置	交通整理員の配置	情報提供	生活道路の回避	通学路の回避	療養施設等の回避	右折経路
あり	配置	チラシ配布	回避	非回避	回避	あり

b 搬出入車両関係 通学路との交錯 登下校時間の運行 登下校時間の交通整理員 あり あり 非配備

※非配備の場合等の対応 状況に応じて整理員配置を検討

バス・タクシー等交通機関関係

停車場の確保

バス・タクシー等の停留所なし d 地方公共団体・公共交通事業者の事業関係 パークアンドライド事業等への協力

事業なし

評価

(イ) 歩行者通行関係

評価 0

(ウ) 廃棄物・リサイクル関係

廃棄物減量化計画	リサイクル活動推進計画
実施予定	実施予定

評価

(エ) 防災・防犯対策への協力 a 防災への協力

避難場所の提供	物資の緊急提供	その他		
締結可能	締結可能	協力依頼等があれば検討する		

b 防犯への協力

S 101.00 - 00 (00)						
	夜間照明の配置	警備員等の巡回	その他			
	配慮あり	あり	・駐車場内および敷地周囲に照明を配置する。 ・店内外への防犯カメラの設置及び店内に防犯ゲートを設置する。 ・従業員による見回りにより青少年の蝟集を防止に 努める。			

評価 0

- 2 生活環境悪化防止関係
- (1) 騒音発生に係る事項
- ア 騒音問題対応策 (ア)一般的対策

	// // // // // // // // // // // // //					
	住居(距離)	高層住居(距離)	騒音発生源	遮音壁(高さ)	緑地帯	その他の対策
東方向	18 m	なし	来客車両	なし	なし	-
西方向	90 m	なし	来客車両	なし	なし	-
南方向	130 m	なし	来客車両	なし	なし	-
北方向	60 m	なし	キュービクル、室外機	なし	なし	-

遮音壁の影響 遮音壁設置なし

(イ)営業活動の騒音対策

(1) 古木石刧の織日乃米	
早朝・深夜荷捌きの有無	あり
荷捌施設建築計画面での配慮	十分な作業スペースの確保
	アイドリングストップの励行、作業員の騒音抑制意識の徹底
放送設備使用面での配慮	屋外放送なし

(ウ)付帯設備及び付帯施設等における騒音対策

-						
	冷却塔、室外機等からの騒音配慮	低騒音機器の導入、既存住宅に影響が少ない場所に設置				
ſ	給排気口等からの騒音配慮	低騒音機器の導入、フードの設置				
		段差の解消、不必要なアイドリングストップ、クラクションの禁止、徐行運転の呼びかけ、営業時間外の出入口封鎖				
	廃棄物収集作業等に伴う騒音配慮	早朝・深夜の作業回避、非圧縮作業時はアイドリングストップを励行、作業員の騒音抑制意識の徹底				
	経年劣化等の事後対策	定期点検の実施				

(工)併設施設における騒音対策

(土) 丌改心改にのりる融目外来				
施設面の騒音配慮	なし(併設施設なし)			
運営面の騒音配慮	なし(併設施設なし)			

イ 騒音の予測評価

	1 触日の	了冽畔伽											
予	定常騒音	空調機室外機	10	冷却塔		給排気口	17	変電施設	2	浄化槽	ポンプ		
測	佐市融日	冷凍機室外機	5										
対		自動車走行	0	後進警報プザー	0	台車走行	0	BGM		アナウンス			
象		ゴミ収集作業	0	アイト゛リンク゛									
騒	衝撃騒音	荷降し音	0										
音													
建物の構造(高さ) 鉄骨造1階建(8.10m)及び鉄骨造1階建(3.83m)													

(ア)等価騒音レベル予測

	(ノノ寸 岡原式日レー・ノレ) 次)				
		東(A)	東(B)	北(C)	
	用途地域	準工業地域	準工業地域	準工業地域	
	昼間基準値	60 dB	60 dB	60 dB	
	夜間基準値	50 dB	50 dB	50 dB	
設	昼間等価騒音レベル	42.7 dB	44.3 dB	45.5 dB	
置	評価	0	0	0	
遣 者	夜間等価騒音レベル	34.4 dB	36.6 dB	38.4 dB	
19	評 価	0	0	0	
県	昼間等価騒音レベル検証	妥当	妥当	妥当	
不	夜間等価騒音レベル検証	妥当	妥当	妥当	

※基準値を超えた場合の対応等 全ての地点において予測値は環境基準値を下回っているが、苦情が発生した場合は真摯に対応をする。

(イ)夜間における騒音ごとの予測

A 商工系地域で周囲50m以内に学校、保育所、病院、患者収容施設を有する診療所、図書館、特別養護老人ホームの有無 mm					無	
B 工業地域で住居系地域との境界線を50m以内に有するか否か #**						////
上記A·Bの具体的内容 一						
	·	東(a)	東(b)	北(c)	北(d)	
	用途地域	準工業地域	準工業地域	準工業地域	準工業地均	或
	基準値を5dB減ずる要因	なし	なし	なし	なし	
	基準値	50dB	50dB	50dB	50dB	
設	定常騒音の騒音レベル(合成値)	29dB	28.4dB	36.2dB	46.9dB	
置	評 価	0	0	0	0	
書	変動騒音と衝撃騒音の騒音レベルの最大値	64.2dB	67.6dB	64.4dB	50.6dB	
1	評 価	Δ	Δ	Δ	Δ	
県	定常騒音の騒音レベル検証	妥当	妥当	妥当	妥当	
示	変動騒音と衝撃騒音の騒音レベルの最大値検証	_	_	_	_	

		東(A)	東(B)	
	用途地域	準工業地域	準工業地域	
	基準値を5dB減ずる要因	なし	なし	
	基準値	50dB	50dB	
設	定常騒音の騒音レベル(合成値)	-	-	
置	評 価	-	-	
世	変動騒音と衝撃騒音の騒音レベルの最大値	47.6dB	53dB	
19	評 価	0	Δ	
県	定常騒音の騒音レベル検証	ı	-	
一	変動騒音と衝撃騒音の騒音レベルの最大値検証	妥当	妥当	

※基準値を超えた場合の対応等

|変動騒音(来客車両自動車走行音、荷さばき作業音)について、自動車走行音が全ての地点で規制基準を超

過する結果となるが、予測地点c、d側には、住宅の立地はない。 住宅の立地がある地点a、b側において、道路を挟んだ民地側境界側(等価騒音予測地点A、B)で再予測を 行った結果、地点B側で夜間搬入車両走行音値が53dBと規制値を超える結果となった。

なお、当該車両は既存店舗であるコンビニの搬入車両であり、現状ですでに運用され、苦情等はない状況であるが、東側の道路沿道での夜間の現況騒音(L5)を測定した結果、55~64dBとなっており、規制基準値およ び予測値(地点B側)を上回っている状況である。なお、開店後に周辺住民から苦情等があった場合は真摯に 対応することとする。

(2) 廃棄物関係

廃棄物笙の保管について

アー 廃業物等の休官について	
悪臭問題関係配慮 専用の保管庫(冷所)にビニール袋に詰めて保管	
衛生問題関係配慮 収集を毎日実施、保管庫内の清掃	

(ア)小売店舗の必要保管容量

a 指針に分類される廃棄物等

取扱品目	届出容量	保管日数	日排出量	見かけ比重	必要保管容量	見かけ比重の変更	評価
紙廃棄物用		1日	0.311 t	0.10 t/m³	3.108 m ³	変更なし	0
金属製廃棄物用		1日	0.010 t	0.10 t/m³	0.105 m ³	変更なし	0
ガラス製廃棄物用	12.6 m	1日	0.009 t	0.10 t/m³	0.090 m	変更なし	0
プラスチック製廃棄物用	12.0 111	1日	0.030 t	0.01 t/m	2.988 m	変更なし	0
生ごみ用		1日	0.252 t	0.55 t∕ m³	0.459 m ³	変更なし	0
その他可燃性廃棄物用		1日	0.081 t	0.38 t∕ m³	0.212 m	変更なし	0
合計	12.6 m	ı	Ī	Ī	6.962 m ³	-	0
保管日数の設定根拠 既存の実績に基づく							
見かけ比重変更の理由を変更なし							
指針と異なる算定式の使用 変更なし							

b その他の廃棄物等

(イ)小売店舗以外の施設の必要保管容量

a 飲食店の廃棄物等 なし

b 小売店舗以外の施設の廃棄物等(廃棄物等の保管場所が小売店舗と同一の場合) なし

(ウ)小売店舗から排出される廃棄物の増減要因

廃棄物排出量を 減少 させる要	因	廃棄物排出量を 増加 させる要[因			
レジ袋削減の実施	あり	空缶・空き瓶の回収箱設置	あり			
ダンボール不使用納品の実施	あり	食品トレーの回収箱設置	なし			
生ゴミ堆肥化施設の使用	なし	ペットボトルの回収箱設置	あり			
廃棄物等圧縮機の使用	なし	食品加工場の設置	なし			
脱水装置の使用	なし	物販店以外の施設との保管施設の共有	なし			
その他	なし	その他	なし			

※その他廃棄物減量化及びリサイクル等に係る取組み

- ・マイバック利用を呼びかけレジ袋の削減に努める。
- ・分別を徹底し再資源化および減量化に努める。
- ・廃棄物の減量化及び再資源化について従業員の啓蒙活動を徹底させ、社内の研修体制や指導体制の確立 を図る中でゴミ発生の抑制やリサイクルの推進に取り組む。

(エ)廃棄物保管施設の位置・構造

位	種類・処理方法ごとの分別の実施	種類ごとに専用カゴ等により分別
置		収集時間を事前に確認し、収集作業の効率化に努める
•	搬出作業の騒音・悪臭対策の確保	夜間及び早朝作業は実施しない
構	生ゴミ保管施設の温度管理等の実施	la l
造	生ゴミ保管施設の密閉性の確保	あり

イ 廃棄物等の運搬や処理について

一、光米的寺の是城へを全にして、	
十分な搬送頻度の確保	特になし
	搬出回数を増便
運搬(予定)業者(免許番号)	未定
運搬業者・処理業者に対する情報提供	廃棄物性状等について調整を行い業者選定する
敷地内処理の配慮	すべて敷地外処理
廃棄物運搬・処理実施要綱等の制定	はし

ウ その他廃棄物関連対応策について

_	プー (の)			
Π	食品加工場等からの悪臭防止対策	なし(食品加工場なし)		
- 1	及吅加工物守かりの芯夫例正列束	ない(食印加工物ない)		
ı	併設施設からの悪臭防止対策	なし(併設施設なし)		
- 1	併設旭設からの志美防止刈束	ない		

評価	
0	

(3) 街づくり等への配慮

	(3) 街づくり寺への配慮	(3) 街づくり寺への配慮	
	街並みづくり等への配慮	外観・色彩等 建物壁面は茶系を基調とした色彩として周辺との調和に配慮する	
		環境美化活動 〇 従業員により定期的に店舗敷地内及び周辺の清掃を行う。	
	市町村等の公的計画への協力	協力要請があれば検討する	
	照明等の配慮	夜間の屋外照明は近隣の住居に直接あたらないように配慮する	
-[敷地内の緑地計画	なL	

評価

市町村の意見概要	対応			
意見なし				
住民等の意見の概要	対応			
意見なし				
県の意見案				
意見なし				